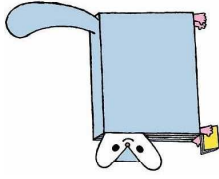


「卒業」



2024. 3. 15

美幌町図書館長
竹花 史康

3月は、幼稚園から大学、専門学校等々、「卒業」の時期です。共に学んだ仲間との別れは少し寂しいものですが、新たな世界へと旅立つときでもあります。

広辞苑によると、「卒業」とは、①「学校で所定の学業過程を履修しおえること」、比喩的には、②「ある程度や段階を通り越すこと」とありました。

確かに、「アイドルグループのメンバーがグループを卒業する」などのように、比喩的に「卒業」という言葉がときどき使われます。

私の場合、教師だったこともあり、「卒業」といえばやはり、「学んだことを生かしながら新しい可能性に向かって進むこと」を意味していました。ただ歳とともに、今まで当たり前に出ていたことが難しくなって、新しいものに挑戦できなくなってしまふものです。

私ごとですが、この3月をもちまして図書館長を卒業することとなりました。図書館という空間は時間がゆっくり流れるところです。そのなかで、たくさんの本やいろいろな人と出会いました。そして、優しいスタッフと共に楽しみながら働くことができた6年間でした。

この間、図書館を利用いただきました皆さま、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

今の私にとって「卒業」とは、一つの時代の終わりを告げることとなります。若いときのように、「新たな希望や目標に向かってがんばる」のとは大きく違います。しかしながら、今まで考えてもみなかった、新しい段階の一步を踏み出すきっかけにしたいと思っています。

人生の終わりまで少し時間はありますので、じっくり考えながら穏やかに過ごしていきたいと思っています。

どうか、これからも美幌町図書館をよろしく願います。そして最後に、皆さま、さようなら。